

女性学の基本書／時代を超えて読み継がれる永遠の名著！
『新版 いのちの女たちへーとり乱しウーマン・リブ論』（パンドラ）
発売記念トークイベント

相模原事件と私たち

「誰のいのちも大事」と、「役に立たないいのちは要らない」のあいだ

日時：2016年10月4日（火）

14時00分～（開場：13時30分）

※講演会終了後、サイン会を実施いたします。
（お持ち込みの本・色紙・グッズ等へのサインはできません。）

場所：八重洲ブックセンター本店 8階ギャラリー



伝説的書籍『いのちの女たちへーとり乱しウーマン・リブ論』新版の発売を記念し、田中美津さん、上野千鶴子さん、伊藤比呂美さんによるトークイベントを開催いたします。
「生まれ出ずるいのちへの喜び」も、「障害を持った子どもは、できるなら生まれてもらいたくない」の気持ちも両方本音。いま、私たちはどのようにいのちと、ま向かおうとしているのか。お三方に語っていただきます。

《講演者紹介》

田中美津（たなか・みつ）

『新版いのちの女たちへ』著者／鍼灸師

他の著書に『美津と千鶴子のこんとんとんからり』（木犀社）

『いのちのイメージトレーニング』（筑摩書房）『自分で治す冷え性』（マガジンハウス）

『かけがえのない、大したことのない私』（インパクション出版会）他



上野千鶴子（うえの・ちづこ）

社会学者／東京大学名誉教授／立命館大学特別招聘教授／認定NPO法人ウイメンズアクションネットワーク（WAN）理事長

近刊に『ケアのカリスマたち 看取りを支えるプロフェッショナル』（亜紀書房）『おひとりさまの最期』（朝日新聞出版）、最新刊『上野千鶴子のサバイバル語録』（文藝春秋社）など著書多数。1994年『近代家族の成立と終焉』（岩波書店）によりサントリー学芸賞受賞。2012年度朝日賞受賞。



撮影：菅野勝男

司会 伊藤比呂美（いとう・ひろみ）
詩人

『とげ抜き新輿地蔵縁起』（講談社）

『読み解き般若心経』（朝日新聞出版）

『閉経記』（中央公論新社）『女の絶望』『父の生きる』（光文社）他



参加方法

- ▼参加定員：80名（申し込み先着順） ※定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ▼申込方法：1階カウンターにてお申し込みください。整理券を差し上げます。また、お電話によるお申し込みも承ります。（電話番号：03-3281-8201）
（整理券1枚につき、お1人のご入場とさせていただきます。）
- ▼参加費：税込 500円
イベント当日会場入口にて整理券をご呈示の上、参加費をお支払いください。

※お預かりした個人情報（氏名・電話番号）は、お申込みのイベントが中止、もしくは日時が変更になった場合のご連絡のみに使用致します。